

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 ■ 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-1]

次世代育成委員会活動報告

○中野 俊秀 (福岡市立こども病院 心臓血管外科)

[III-CSY2-2]

育成プログラム開始から1年：課題と更なる発展に向けた取り組み

○松久 弘典¹, 平野 暁教², 犬塚 亮³, 小谷 恭弘^{3,4}, 小田 晋一郎⁵, 本宮 久之⁵, 伊藤 貴弘⁶, 落合 由恵⁷, 瀧間 浄宏⁸, 中野 俊秀⁹ (1.兵庫県立こども病院 心臓血管外科, 2.埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科, 3.東京大学 小児科, 4.岡山大学 心臓血管外科, 5.京都府立医科大学 小児心臓血管外科, 6.千葉県こども病院 心臓血管外科, 7.JCHO九州病院 心臓血管外科, 8.長野県立こども病院 循環器小児科, 9.福岡市立こども病院 心臓血管外科)

[III-CSY2-3]

修練医から見た育成プログラム：充実した修練の為の要望

○平野 暁教, 中野 俊秀, 本宮 久之, 伊藤 貴弘, 瀧間 浄宏, 松久 弘典, 犬塚 亮, 大崎 真樹, 落合 由恵, 笠原 真悟, 平松 祐司 et al (日本小児循環器学会 次世代育成委員会)

[III-CSY2-4]

地域グループミーティング 全国における現況報告

○瀧間 浄宏^{1,2}, 平野 暁教^{1,3}, 中野 俊秀^{1,4}, 鈴木 孝明^{1,3}, 坂本 喜三郎^{1,5}, 芳村 直樹^{1,6}, 平松 祐司^{1,7}, 笠原 真吾^{1,8}, 宮地 鑑^{1,9}, 落合 由恵^{1,10} (1.日本小児循環器学会 次世代育成委員会 地域拠点化小委員会, 2.長野県立こども病院循環器小児科 エコーセンター 移行期医療支援センター, 3.埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科, 4.福岡市立こども病院 心臓血管外科, 5.静岡県立こども病院 心臓血管外科, 6.富山大学 心臓血管外科, 7.筑波大学附属病院 心臓血管外科, 8.岡山大学病院 心臓血管外科, 9.北里大学病院 心臓血管外科, 10.JCHO九州病院 心臓血管外科)

[III-CSY2-5]

地域グループミーティング 近畿ブロックにおける現況報告

○宮地 鑑 (北里大学医学部心臓血管外科)

[III-CSY2-6]

施設集約化のシミュレーション 何がどう変わる？

○立森 久照¹, 中野 俊秀², 平田 康隆³, 瀧間 浄宏⁴, 平野 暁教⁵ (1.慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室, 2.福岡市立こども病院 心臓血管外科, 3.国立成育医療研究センター 心臓血管外科, 4.長野県立こども病院 循環器小児科, 5.埼玉医大国際医療センター 小児心臓血管外科)

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 Ⅲ 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-1] 次世代育成委員会活動報告

○中野 俊秀 (福岡市立こども病院 心臓血管外科)

キーワード：次世代育成、地域拠点化、育成プログラム

今期の次世代育成委員会では、小児心臓血管外科生涯育成小委員会では育成プログラムの運用を開始し、また地域拠点化小委員会では「先天性心疾患の手術を行う施設の集約化（地域拠点化）に関する提言」の実現化にむけた活動を始めた。詳細は各小委員会の活動報告に譲る。また、「あけみちゃん基金」からの支援による活動として、若手、中堅外科医を対象とした年3回の小児心臓血管外科ハンズオンセミナーと、医学生と研修医を対象とした「小児心臓血管外科ウインタースクール」を開催した。また地域拠点化事業の参考資料としてJCVSD-congenital dataを用いた集約化シミュレーション作成も行っている。このように現在の我が国の良質で安全な先天性心疾患の外科治療を今後も継続的に提供できる環境と体制づくりに向け様々な活動を進めている。

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 血 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-2] 育成プログラム開始から1年：課題と更なる発展に向けた取り組み

○松久 弘典¹, 平野 暁教², 犬塚 亮³, 小谷 恭弘^{3,4}, 小田 晋一郎⁵, 本宮 久之⁵, 伊藤 貴弘⁶, 落合 由恵⁷, 瀧間 浄宏⁸, 中野 俊秀⁹ (1.兵庫県立こども病院 心臓血管外科, 2.埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科, 3.東京大学 小児科, 4.岡山大学 心臓血管外科, 5.京都府立医科大学 小児心臓血管外科, 6.千葉県こども病院 心臓血管外科, 7.JCHO九州病院 心臓血管外科, 8.長野県立こども病院 循環器小児科, 9.福岡市立こども病院 心臓血管外科)

キーワード：次世代育成、小児心臓血管外科医生涯育成プログラム、システム構築

小児心臓血管外科医生涯育成プログラムは2024年4月より修練医受付を開始し、2025年3月時点で77名の修練医が登録され、各施設でプログラムに沿った修練が実施されている。この1年の課題と取り組みについて報告する。【修練医数の確保】受付開始後半年での修練医申請は46名と当初の予想を下回っていた。定期モニタリング時に各施設へのアンケートを行い、各施設への周知を徹底すると共に、参加を躊躇する要因について意見を頂き、実施要項の改定を行う事で主に中堅医師の登録増加に繋がった。【実施要項改定】アンケート結果を基に主にレベル対象術式、クオリティー評価基準の見直しを行った。また、当初の手術実績のカウントがAdvanced-2などの中堅医師にとって厳しく、世代によってプログラムから取り残される外科医が発生する事のないよう、実績カウント法の緩和を行った。【電子システム導入】本プログラムの重点事業である定期モニタリングは、修練状況の把握だけでなく、プログラムの課題を遅滞なく収集できる反面、業務量は膨大であり、事務局機能の逼迫が懸念される。この点については、あけみちゃん基金の援助による電子システム導入により、負担の大幅な軽減が見込まれ、2026年春のシステム稼働を目標としてシステム構築を進めている。本育成プログラムは、当初考え得る理想の修練環境を目指して実施要項の策定を行ったが、プログラム開始と共に様々な問題点が浮き彫りとなり、実施要項改定を含めた修練環境整備の1年であった。ようやく本題である修練の質を求める段階となり、プログラムを介した修練情報の共有や、レベルに応じた人事交流など、施設の垣根を超えた外科医育成のプラットフォームとして発展する事を願う。

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 Ⅲ 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-3] 修練医から見た育成プログラム：充実した修練の為の要望

○平野 暁教, 中野 俊秀, 本宮 久之, 伊藤 貴弘, 瀧間 浄宏, 松久 弘典, 犬塚 亮, 大崎 真樹, 落合 由恵, 笠原 真悟, 平松 祐司 et al (日本小児循環器学会 次世代育成委員会)

キーワード：次世代育成委員会、育成プログラム、修練

小児循環器領域において、安全で良質な先天性心疾患の外科医療を継続的に提供するため、次世代医療者の育成は必要不可欠である。効率よく、また確実に次世代の小児心臓血管外科医育成を行うべく、当委員会にて小児心臓血管外科医生涯育成プログラムを策定し、2024年4月1日より修練医登録を開始した。

2025年4月末までに65施設登録、85名の指導医登録、84名の修練医登録がなされている (Basic 38名, Advanced-1 26名, Advanced-2 15名, Advanced-3 5名)。

今回、ここまでに行われた2回の定期モニタリングの結果と合わせて、修練医に対しアンケート調査を行い、今後のより良い修練に向けての要望をまとめたので報告する。

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 血 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-4] 地域グループミーティング 全国における現況報告

○瀧間 浄宏^{1,2}, 平野 暁教^{1,3}, 中野 俊秀^{1,4}, 鈴木 孝明^{1,3}, 坂本 喜三郎^{1,5}, 芳村 直樹^{1,6}, 平松 祐司^{1,7}, 笠原 真吾^{1,8}, 宮地 鑑^{1,9}, 落合 由恵^{1,10} (1.日本小児循環器学会 次世代育成委員会 地域拠点化小委員会, 2.長野県立こども病院循環器小児科 エコーセンター 移行期医療支援センター, 3.埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科, 4.福岡市立こども病院 心臓血管外科, 5.静岡県立こども病院 心臓血管外科, 6.富山大学 心臓血管外科, 7.筑波大学附属病院 心臓血管外科, 8.岡山大学病院 心臓血管外科, 9.北里大学病院 心臓血管外科, 10.JCHO九州病院 心臓血管外科)

キーワード：地域拠点化、心臓血管外科、地域グループミーティング

2023年9月、日本小児循環器学会、日本心臓血管外科学会、および日本胸部外科学会の三学会合同により、「先天性心疾患の手術を行う施設の集約化（地域拠点化）に関する提言」が公表された。これを受けて、2024年末には全国のステークホルダーに向けて、提言の装丁版とともに、地域グループミーティングへの協力を依頼する文書が送付され、2025年より、上記三学会の外科系理事8名を世話人とする「地域グループミーティング」が開始された。全国を9つのブロックに分割し、各ブロックには担当理事2~4名を配置、ブロック内の主要修練施設の小児科チーフらとともにコアメンバーを形成、各ブロックの修練施設および修練施設群に所属する心臓血管外科のチーフに参画頂き、ミーティングが始められた。本ミーティングの主たる目的は、各地域における先天性心疾患患者に対する治療の質の維持と向上（クオリティコントロール）を図ること、次世代小児心臓外科医について計画的に育成可能な体制を構築すること、の2点である。これらの目的を達成するため、まずは現状を的確に把握し、地域ごとの課題やその解決策について議論し、最終的には拠点施設を中核とした協力体制を確立することをゴールとしている。本年より始動した地域グループミーティングについて、現時点での状況を報告する。

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 Ⅲ 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-5] 地域グループミーティング 近畿ブロックにおける現況報告

○宮地 鑑 (北里大学医学部心臓血管外科)

キーワード：次世代育成、拠点化、近畿地区

【背景】2023年の「先天性心疾患の手術を行う施設の集約化(地域拠点化)に関する提言」発行以来、次世代育成委員会ではこの実現化に向けた具体的な活動を進めてきた。地域拠点化プロジェクトもその手始めとして、地域グループミーティングが開始された。全国を北海道、東北、関東、東京、中部、北陸、近畿、中国・四国、九州、沖縄の10地域に分けて、それぞれの地域に小児心臓血管外科が関係する3学会（日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本小児循環器学会）の理事を務める外科医師がリーダー・サブリーダーとなりグループミーティングを主宰した。今回、近畿地区の現況を報告する。【参加施設】京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター、大阪市立総合医療センター、大阪府立母子医療センター、大阪医科大学附属病院、近畿大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附属病院、和歌山県立医科大学附属病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、兵庫県立こども病院、加古川市民病院の13施設で、近畿地区の小児心臓血管外科診療を行っているほぼ全ての施設から外科医もしくは小児循環器医が参加した。【拠点施設】各施設の現状と今後の方向性をヒアリングした。外科医と小児循環器医の数、PICUの有無、集中治療医の有無、次世代心臓外科医の育成の可能性について詳しく聴取した。結果、次世代育成のため、提言で述べられている難易度Advance-3以上を含む150例以上の手術を行っている施設を候補とすると、京都府立医科大学附属病院、国立循環器病研究センター、大阪市立総合医療センター、大阪府立母子医療センター、兵庫県立こども病院の5施設が候補となり、これら施設を中心に診療協力体制の構築して医療の質を担保するとともに、次世代の育成を行っていくことの必要性を地域全体で共有した。

委員会企画シンポジウム

■ 2025年7月12日(土) 8:30 ~ 10:00 Ⅲ 第2会場 (文化会館棟 1F 中ホール)

委員会企画シンポジウム2 (III-CSY2)

ここまで来た！ 小児心臓外科医育成プログラムと地域拠点化プロジェクト

座長：中野 俊秀 (福岡市立こども病院心臓血管外科)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院)

コメンテーター：山岸 敬幸 (東京都立小児総合医療センター)

コメンテーター：坂本 喜三郎 (静岡県立こども病院心臓血管外科)

[III-CSY2-6] 施設集約化のシミュレーション 何がどう変わる？

○立森 久照¹, 中野 俊秀², 平田 康隆³, 瀧間 浄宏⁴, 平野 暁教⁵ (1.慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室, 2.福岡市立こども病院 心臓血管外科, 3.国立成育医療研究センター 心臓血管外科, 4.長野県立こども病院 循環器小児科, 5.埼玉医大国際医療センター 小児心臓血管外科)

キーワード：先天性心疾患手術、施設集約化、シミュレーション研究

先天性心疾患 (CHD) 手術における地域拠点化は、医療資源の最適配分と質の向上を目指す上で重要な課題である。本研究では、日本小児循環器学会、日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会の提言作成合同委員会による「先天性心疾患の手術を行う施設の集約化 (地域拠点化) に関する提言」およびその提言を踏まえた日本小児循環器学会の次世代育成委員会の小児心臓手術の地域拠点化プロジェクトでのこれまでの検討に基づき、CHD手術施設の集約化が手術成績に及ぼす影響をシミュレーションにより検証する。先行研究による施設規模と死亡率の解析等(Yoshimura, et al., 2022, doi: 10.1016/j.jtcvs.2022.06.009)にも基づき、集約化によってどの疾患群でどの程度の手術成績に変化が見込まれるかを定量的に評価することを目的とする。

具体的には、日本小児循環器学会作成の「育成プログラム」における術式レベル (Basic, Advanced1-3) を用いて、各施設の手術症例を分類し、各施設の平均年間実施症例数と周術期死亡などの関係性を分析する。平均年間実施症例数により施設を分類し、その分類ごとに年平均手術症例数、術式レベルごとの症例数の分布、および術式レベルごとの周術期死亡率 (90日または在院死亡) を示す。

また、上記の解析から得られた症例数と周術期死亡率の関係における傾向を利用して、複数のシナリオ (例えば、特定の術式レベルの症例を一定数の拠点施設に集約する等) を設定し、集約化による周術期死亡の観点からの手術成績の変化についての予備的なシミュレーションを実施し、その結果を提示する。具体的には、集約化によって全体の死亡率がどの程度変化する可能性があるか、あるいは特定の術式レベルにおいてその変化に異なる影響が生じるかなどを検討する。